専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	
スポーツ科学部	助教	長島　健二朗		無

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（期間）	概　　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		
・ICT機器を活用した授業実践(保健体育科教育法B(保健))□	令和７年４月～現在に至る。	「主体的に学ぶ保健授業のデザインと実践」というテーマで授業を実施した。学習内容の理解を促進するため、講義では視聴覚機器（PCやPowerPoint）を活用してスライドや動画を提示し、あわせてプリントも配付して進めている。保健授業における指導法の一例としては、テキストに基づいて「授業とは何か」を学ぶとともに、実際の授業で活用できる教材の紹介も行っている。
2　作成した教科書、教材、参考書		
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅠ	令和５年２月	生きて働く[知識・技能]を育む指導と評価について指導案の作成と授業を展開した。そこでは、[知識・技能]の獲得・更新を促すことに着目した単元・題材を教科等ごとの特質を踏まえて生徒が知識を概念的に理解できるようになることや、技能を汎用的に活用できるようになることを目標とした。
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅡ	令和５年１０月	三観点が関連しながら学習が進む中で、[知識・技能]をどのように指導し、どのように評価していくか、そして、［思考・判断・表現］との関連の中で生きて働いているかどうかなどを明らかにすることを試みてきた。
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅢ	令和６年１０月	「何を学ぶか」というコンテンツ・ベースの教育から脱却し、「何ができるようになるか」というコンピテンシー・ベースの資質・能力を基盤とした教育の実現に向けて、本校でも「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善から行っていった。
新・みんなの保健5・6年生　教師用指導書	令和６年３月	小学校６年生の３単元「病気の予防」で「病気の起こり方」「病原体と病気」の教師用指導書原稿執筆をした。
新・みんなの保健中学校	令和６年１２月	中学校３年生の「健康と環境」単元で「水の役割と飲料水の確保」の教師用指導書原稿執筆をした。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
関東附属連盟　宇都宮大会	令和６年１０月	３学年保健分野「感染症とその予防」の単元での、感染症に関わる基本的な知識(感染症とは、病原体が感染し発病するまでのメカニズム、新型コロナウイルスの特徴など)を学習した後、「学校行事で感染症にかからず、集団が健康で安全に過ごすために必要なことは？」という「問い」を投げかけた。生徒は、自身の生活を振り返り、この「問い」に取り組むことで課題を発見することができた。
神奈川県愛川町立中学校にて、講師派遣	令和７年２月	神奈川県愛川町立中学校にて、講師を務めた。校内研究テーマは「つなぐ、つながる」であった。授業は1年1組のバスケットボールであった。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
令和6年度スポーツ庁委託事業令和の日本型学体育構築支援事業多様な武道指導の充実及び支援体制の強化	令和７年２月	「令和の日本型学校教育の姿」に基づく武道教育の発展を研究課題としている。令和6年度は、「個別最適な学び」・「協働的な学び」を目標にし、多様な武道種目の指導内容や評価方法の工夫を進めていく。横浜国立大学教育学部附属横浜中学校においては「柔道に通じる身体技能とは？」を単元目標として、探究を行った。

Ⅱ　研究活動

著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅠ	松原　雅俊(他23名)/横浜国立大学教育学部附属横浜中学校編	88頁～95頁	学事出版		令和５年２月
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅡ	松原　雅俊(他23名)/横浜国立大学教育学部附属横浜中学校編	86頁～97頁	学事出版		令和５年１０月
これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅢ	木村　奨(他23名)/横浜国立大学教育学部附属横浜中学校編	86頁～93頁	学事出版		令和６年１０月

新・みんなの保健5・6年生　教師用指導書研究編	森　昭三(他14名)/株式会社Gakken	72頁～79頁	株式会社Gakken		令和６年３月
新・みんなの保健5・6年生　教師用指導書朱書き編	森　昭三(他14名)/株式会社Gakken	72頁～79頁	株式会社Gakken		令和６年３月
新・中学保健体育教授ノート	森　昭三・佐伯　年詩雄(他27名)/株式会社Gakken	104頁～105頁	株式会社Gakken		令和６年１２月
新・中学保健体育研究編	森　昭三・佐伯　年詩雄(他27名)/株式会社Gakken	88頁～93頁	株式会社Gakken		令和６年１２月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

その他　（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
選択		選択					
選択		選択					

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内(他)	令和５年２月	横浜国立教育大学附属横浜中学校研究発表会	これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅢ～生きて働く「知識・技能」を育む指導と評価～	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	長島健二朗他
国内(他)	令和５年１１月	横浜国立教育大学附属横浜中学校研究発表会	これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅣ～〔思考力，判断力，表現力等〕を育成する授業づくり～	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	長島健二朗他
国内(他)	令和６年１１月	横浜国立教育大学附属横浜中学校研究発表会	これからの「学校」のあるべき姿を追究するⅤ～主体的に学習に取り組む態度の指導と評価の工夫～	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	長島健二朗他

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
選択			選択		
選択			選択		

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号		公告・特許番号	国
				取得した場合⇒		

Ⅲ　加入学会および社会における活動

期　　間	内　　容
加入学会	
平成２７年４月～現在に至る	日本保健科教育学会
平成２７年４月～現在に至る	日本体育学会　保健
平成２７年４月～現在に至る	保健授業研究会
社会的活動	
令和７年２月	神奈川県愛川町立中学校　講師派遣
令和７年４月～現在に至る	日本保健科教育実践・研究推進委員会
令和７年４月～現在に至る	日本保健科教育学会学会事務局
令和７年４月～現在に至る	湘南白百合学園研究プロジェクト

Ⅳ　管理活動

期　　間	内　　容

委員会活動	
特別プロジェクト活動	

Ⅴ　クラブ活動の指導業績

１．指導クラブ名	部	２．役職		３．部員数	人
４．現場指導の頻度	選択	① ほぼ毎日　② 週３日　③ 週１日　④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導　⑤ 全く関与していない			
５．合宿指導	年間合宿回数：　回	延べ日数：　日			
６．クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない			
７．クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない			
８．部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない			

９．年間の引率公式大会名	大　会　名	期　　間	場　　所

１０．クラブ戦績　（全日本選手権８位以上、関西選手権４位以上、関西１部リーグ３位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開　催　期　間	大　会　名	成　　績	場　　所

Ⅵ　賞罰（職務に関する賞罰）

年　　月	受賞等機関名	内　　容	備　　考